第2回 輸入車部会 議事録

日 時: 令和8年9月17日(木) 11時00分～
場 所: 熊本県自動車会館 3階 特別会議室
出席者: 池永成正担当理事
弓削貴裕委員 中原祐一委員 竹原勝哉委員 小松慎一郎委員
井上健太郎委員 皆吉祐介委員 本郷努委員 萩原久美委員
緒方竜一様(熊日広告社)洲崎欽也様(熊日広告社)佐藤直樹様(熊日広告社)
入江潤一郎(熊日広告社)
事務局 松本伸二専務理事 羽田野晃央事務局長
事務局 松本専務理事 司会進行
木村部会長欠席につき、本日の議事進行は事務局で進行することとした。

担当理事挨拶

皆さん、おはようございます。 あっという間に1年が過ぎ、いよいよ来年2月の「インポートカーチャレンジ2027」に向けた打ち合わせを本日よりスタートすることとなりました。
最近の話題といたしまして、ご存じの通り私は自販連本部にて輸入車部会の部会長を務めております。その中でさまざまな取り組みを行っておりますが、委員の皆様との意見交換において、関東の群馬県では輸入車ディーラー全社が自販連に加入しているというお話を伺いました。これは全国的にも唯一のケースではないでしょうか。群馬県支部でも輸入車部会の活動が行われているとのことで、極めて珍しく、素晴らしい事例です。このような形が全国に広まればよいのではないかと話題になりました。

一方で、福井県や三重県などでは、輸入車ディーラーが1社も加入していない状況とのことです。自販連が70周年を迎える歴史の中で見ても、非常に珍しい事例と言えるでしょう。
私の役割としては、各県の輸入車ディーラーに一人でも多く自販連へご加入いただき、国産車ディーラーの皆様と共に協調しながら歩んでいくことだと考えております。

また個別課題として、電気自動車(EV)についてお話しします。輸入車ディーラーはEVの販売比率も高く、実績やノウハウの面でも一歩先を進んでいる状況の中で、良い点も悪い点も含めて多くの経験を蓄積しております。 しかしながら現在、EVの明確な査定基準というものが確立されておりません。各社でバッテリーの耐久性や性能に違いがあるなど、非常に難しい問題ではありますが、業界としての「査定のスタンダード」が存在しないのが現状です。 そこで私より、日本自動車査定協会およびJAIA(日本自動車輸入組合)の専務理事に対し、全国輸入車部会を通じて「査定のスタンダード」を作成してほしいと要望を出しております。依頼をしてからおよそ3ヶ月が経過しましたので、年内には何らかの形になったものが提示できればと考えております。皆様も、現在このような働きかけを行っていることをお含みおきください。

最後になりますが、来年 5 月にはアデル・カーズおよびモトーレンフロイデ様と共同で、HSR 九州を会場に試乗会と安全運転講習会を開催する予定です。 輸入車部会全体で取り組む事業はもちろんのこと、2～3 社で協力して行うイベントなども含め、部会内で互いに情報交換や発信が活発に行える環境を作っていきたいと考えております。各社ご事情はあるかと思いますが、販促活動などについて遠慮なく意見を出し合い、盛り上げていきましょう。

※2026 実施報告書について（振り返り）

○天候　2025 年 2 月 7 日（土）天候　曇りのち晴れ　（最高気温 8℃）

2 月 8 日（日）天候　雪　（最高気温 1℃）

・天候的には厳しい条件であったが結果は大盛況に終わった。

・展示ホール ABC の3スパン会場レイアウト　屋内展示のみ（中古車も屋内へ）

・EV・HB 専用の中央展示ブースを設けた

○出展者

アデル・カーズ㈱　ファーレン熊本㈱　㈱モトーレンフロイデ　ユナイテッドトヨタ熊本㈱

熊本日産自動車㈱　㈱ヤナセ　　6 社

○実績

・来場者数合計：2,827 名　会場を 3 スパンと広くした結果、滞在時間が長く、賑わいもあったが、近年では少ない来場数となった。

・成約数：　土曜日 33 台、日曜日 35 台、　合計 68 台と来場者数に対して高い成約率

○来場者アンケート属性

・性別　男性 84%　年齢 50～60 代で最多約 54%、30～40 代　約 25%

○来場きっかけ

・認知　テレビ約 45%　新聞約 24%　WEB 広告 11%

・新聞広告からの来場が年々増えてきている。

○（参考）2 日間の売上金額　合計：3億5千1，760千円

イベント後の後追い分　　2千8，800千円

総合計：3億8千560千円

議題1、令和9年「KUMAMOTO IMPORTCAR CHALLENGE　2027」開催について

熊日広告社　緒方部長、佐藤課長、洲崎様、入江様より資料を基に説明。（別途詳細資料参照）

まず初めに、グランメッセ熊本の「令和8年熊本地震」の影響について説明があった。

震災後、7月末から休館。現在は安全性が確認された施設から順次営業再開。

1 階の展示ホールについては、現在支援物資の集積拠点となっており、加えてかなりの修繕を擁している為、すぐに利用することは不可。11 月の県のイベント計画に間に合うように復旧される模様。来年のインポートカーに関しては、開催できる状況と判断し準備を進めていく.

検討課題〔1〕 開催概要

名　称:「KUMAMOTO IMPORTCAR CHALLENGE　2027」

会　期:2027年2月 13 日(土)～2月 14 日(日)　※12 日(金)搬入

会　場:グランメッセ熊本　展示ホール A・B・C

出展社:アデル・カーズ㈱、熊本日産自動車㈱、ファーレン熊本㈱、㈱モトーレンフロイデ、
ユナイテッドトヨタ熊本㈱、㈱ヤナセ九州営業本部

検討課題〔2〕 全体スケジュール

検討課題〔3〕 広報基本プラン

決定項目

紙媒体1　熊本日日新聞　2 月 13 日(土)記事下　全5段カラー　(詳細別途)

紙媒体2　すぱいす　タブロイド　5 段(カラー)　前週 2 月 12 日(金)

電波媒体1　TV4 社　全日フリースポット合計 280 本 15 秒　2月8日(月)～

Web 広告　SPECIAR　SITE、 Yahoo　リスティング広告　2月 8 日(月)～

SNS 広告　インスタフェイスブック LINE　2月 8 日(月)～

検討課題〔4〕 展示ホール　3スパン　6社で開催　決定

バックヤード　企画説明

検討課題〔5〕 会場基本装飾

入場ゲート　展示ホール B 入口　壁面装飾バナー　24本

BC 野外誘導サイン　説明

検討課題〔6〕 メイン車両展示ブース

メーカーパネル　メーカーサイン　説明　※1

検討課題〔7〕 全体予算の説明

3スパン6社の場合　全体予算:￥1,4631,790円(広報費　会場費　装飾・運営費)

電気代昼食代は別途

※1:次回、詳細見積もり　再提示あり　熊日広告社様からの説明は以上

事務局議事進行　各委員の意見

※マーケティング資料から流入を見てみると,TVCM が大きく締めている。リスティング広告よりTVCMにウエイトを置いたがよいのではないか。

Ans:TVCM に関しては、40～50歳の年齢に影響が多く、有効である。リスティング公告に関しては、これからのお客様(20～30歳)に有効であると考えている。

※ドリンクの呈茶に関して、もう少し質の良いもの、更に担当スタッフを多めに配置してもらいたい。

Ans：次回までに検討し再提案する

※開催中に各社の紹介アナウンスなどをやってみてはどうか。TV の取材も開会式の時だけで、他県のイベントの事例を参考にすると、例えば各社3分ずつ自社車の紹介をするなど工夫がほしい。イベントをやっています、みたいな賑やかな空気、などの工夫がほしい。
RKK ラジオのミニー号みたいに、イベントの中継みたいなことをやってみてはどうか。

Ans：次回までに検討

※成約プレゼントなどできないか。

Ans：今後、慎重に検討。予算に関して、次回新たに見積もりを提示する。

※販売のイベントではあるが、YouTube 等の WEB 施策も検討してみてはどうか
場内アナウンスは成約の紹介のみでワンパターンなので、お祭り的なイベント企画を検討してみるのもいいかも。

※各ブースの配置に関して再検討していただきたい。
ユナイテッドトヨタとファーレン熊本は隣同士の方が良いかも。次回検討する。
レイアウトに関して次回再提案あり。

※メーカーサインをどうするか。（必要か？　費用はどう変わるか？）

Ans：次回詳しく見積もりを提出することで了承。

次回開催は、

第 3 回　11 月 6 日（金）11 時 00 分から　3F 特別会議室

以上で、輸入車部会は終了した。